※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「保育基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達に関心をもち、積極的に授業に取り組みましょう
・保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて系統的に理解し、関連する技術を身につけましょう。
・夏休み中と冬休み中の保育所実習を通して、こどもと触れ合い、こどもの発達段階や生活の様子を観察します。意欲的に体験して学びましょう。

２　学習の到達目標

・保育に関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解する。また、子どもの発達の特性や発達過程に関する基礎的・基本的な技術を身につける。保育所実習において子どもと適切な関わり方ができるようになる。
・社会で子どもを育てることや、家族の役割や地域の子育て支援など、保育に関する課題を見出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身につける。
・保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。また、子どもの発達の特性や発達過程に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。また保育所実習において子どもと適切な関わり方ができている。	社会で子どもを育てることや、家族の役割や地域の子育て支援など、保育に関する課題を見出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもの発達の特性	○子どもの発達 ・発達と乳幼児期の意義 ・発達と保育環境 ・発達観・児童感の変遷	a: 乳幼児に適した保育環境について、情報を収集し整理することができる。乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。乳幼児に適した保育環境を理解している。 b: 現代における発達観を踏まえて，自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる c: 人間の発達に関して興味・関心をもち，特に乳幼児期の発達について学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	子どもの発達過程	○子どもの発達過程 ・身体発育と運動機能の発達 ・認知機能の発達 （知覚、言語、情緒、知能、社会性） ・人間関係の発達	a: 子どもの発達の観点から、親のとるべき行動を推察し，母性・父性の関わり方に生かすことができる。子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している b: 子どもの発育・発達には、さまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c: 子どもの発達の特徴について関心をもっている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	子どもの生活と養護	○乳幼児の生活の特徴と養護 ○生活習慣の形成 ○健康管理と事故防止 ○実習:おやつ作り ○実習:フェルトの名札製作	a:実習を通して子どもの生活について考察し、客観的に分析し、それらをまとめることができる。子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。 b: 子どもの生活について考えを深め、実習では工夫がみられる。 C: 子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

2	子どもの保育	夏休み保育所実習 ・保育実習レポート製作 ・保育実習レポート発表 〇子どもの保育 ・保育の意義と目標 ・保育の方法 ・保育の環境 ・家庭保育と集団保育 ・実習:布絵本製作	a: 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。保育の意義や重要性について理解している。 b: 集団保育・家庭保育、それぞれの場面での子どもとの適切な関わり方について具体的に考え、まとめることができる。 c: 子どもにとって生徒自身が保育者(大人)であることを理解し、自らの果たすべき役割について考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート 行動観察	 ワークシート レポート 行動観察
3	子どもの文化の意義・子どもの福祉	〇子どもの文化の意義 ・子どもの文化 ・遊びと発達 〇子どもの福祉 ・子どもの福祉 ・子育て支援 ・児童虐待	a: 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。 b: 子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c: 子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	 ワークシート レポート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度